

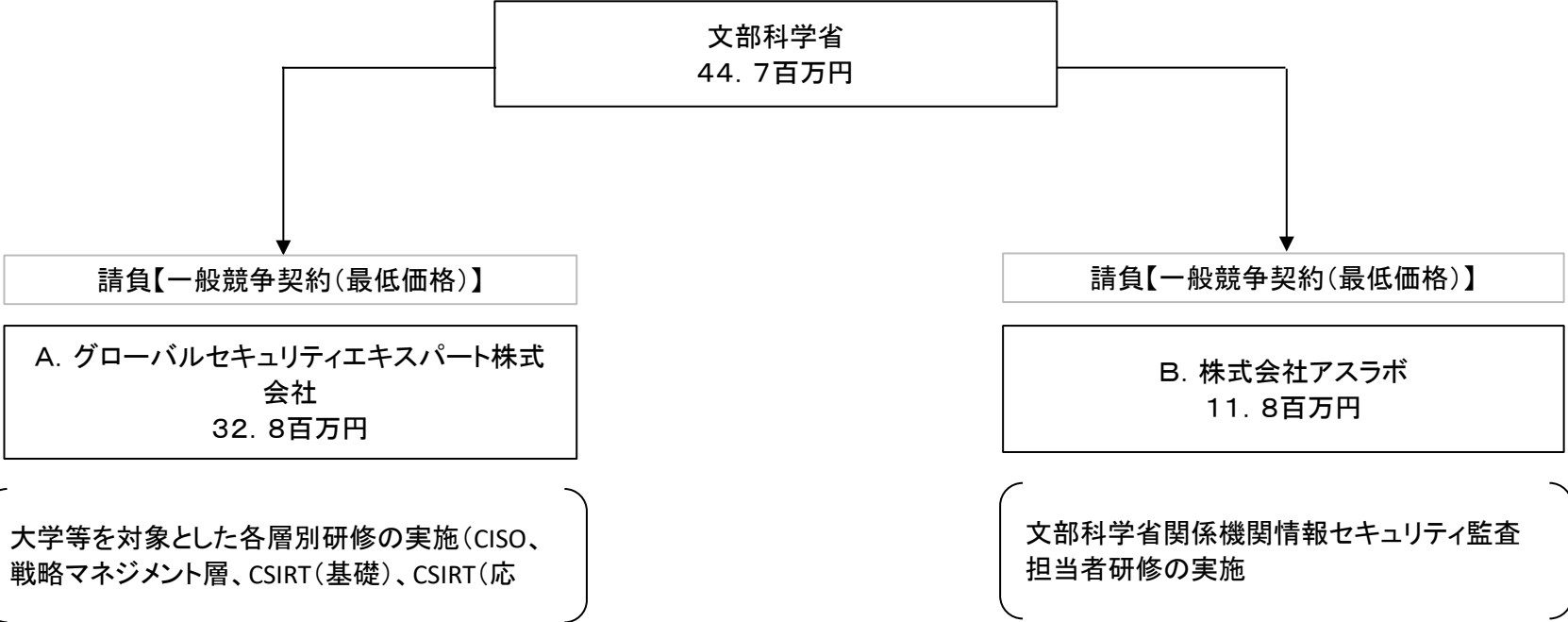
令和5年度行政事業レビューシート			(文部科学省)				
事業名	関係機関の情報セキュリティ人材育成 (大学等に対するサイバーセキュリティ人材育成研修の実施)			担当部局庁	大臣官房政策課	作成責任者	
事業開始年度	平成30年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	大臣官房政策課	サイバーセキュリティ・情報 化推進室長 坂本 秀敬	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	サイバーセキュリティ基本法 第15条 第1項 (国は、中小企業者その他の民間事業者及び大学その他の教育研究機関が有する知的財産に関する情報が我が国の国際競争力の強化にとって重要であることに鑑み、これらの者が自発的に行うサイバーセキュリティに対する取組が促進されるよう、サイバーセキュリティの重要性に関する関心と理解の増進、サイバーセキュリティに関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うことその他の必要な施策を講ずるものとする。)			関係する 計画、通知等	サイバーセキュリティ戦略(令和3年9月28日、閣議決定) サイバーセキュリティ2023(令和5年7月4日、サイバーセキュリティ戦略本部 決定) 大学等におけるサイバーセキュリティ対策等の継続的な取り組みについて (依頼)(令和4年6月22日)		
政策	4 個性が輝く高等教育の振興			主要経費	その他の事項経費		
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	本事業は、大学等の文部科学省関係機関に対して、リスクマネジメントや事案対応に関する各層別研修及び実践的な訓練・演習を実施することにより、大学等における自律的かつ組織的なサイバーセキュリティ対策等の強化のための取組を促進することを目的としている。						
現状・課題 (5行程度以内)	近年、教育・研究機関等を標的とする標的型メール攻撃などの高度なサイバー攻撃手法を用いた事案の発生が増加しており、さらに高度なサイバー攻撃が行われる可能性も想定されるところである。このような事案発生時に適切に対応するため、さらには事案の発生を未然に防ぐ措置を適切に講じるため、文部科学省関係機関におけるセキュリティ人材を育成することが必要である。						
事業概要 (5行程度以内)	文部科学省関係機関におけるセキュリティ人材を育成するため、CISO、戦略マネジメント層、CSIRT担当者、情報セキュリティ監査担当者等を対象とした各層別研修や実践的な訓練・演習を実施する。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	55	47.9	47.9	47.9	47.9
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	13.5	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
	予備費等(E)	19	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	87.5	47.9	47.9	47.9	47.9	
	執行額(G)		87.4	46.7	44.7		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	97%	93%		
当初予算+補正予算に対する執行額の 割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		159%	97%	93%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		高等教育振興費		-		
		(目)	情報処理業務庁費	48			
		(目)	その他	▲ 0			
	計(A)		47.9	47.9			

活動内容① (アクティビティ)		文部科学省関係機関におけるセキュリティ人材を育成するため、CISO、戦略マネジメント層、CSIRT担当者、情報セキュリティ監査担当者等を対象とした各層別研修や実践的な訓練・演習を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		研修への参加	文部科学省関係機関に対する各層別研修及び実践的な訓練・演習の受講者数	活動実績	人	768	647	485	－	－
				当初見込み	人	1,070	850	490	490	490
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	研修への参加を通して、大学等における自律的かつ組織的なサイバーセキュリティ対策等の強化のための取組を促進することを目的としたリスクマネジメントや事案対応を実践できる能力や知識を持つ人材を育成することが望まれるため、短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		リスクマネジメントや事案対応に係る人材の能力や知識の向上	研修全体について、今後の業務に活かせると回答した割合	成果実績	%	100	94.5	93	－	
				目標値	%	100	100	100	100	
				達成度	%	100	94.5	93	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		各層別研修後に実施したアンケートの集計結果								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	研修への参加を通して、大学等における自律的かつ組織的なサイバーセキュリティ対策等の強化のための取組を促進することを目的としたリスクマネジメントや事案対応を実践できる能力や知識を持つ人材を育成することが期待され、個々の人材の能力や知識を踏まえ、組織としてのセキュリティ対策の向上が望まれるため、長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度	
		リスクマネジメントや事案対応に係る組織の能力や知識の向上	研修全体について、今後の組織のセキュリティ対策に活かせると回答した割合	成果実績	%				－	
				目標値	%				－	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		各層別研修後に実施したアンケートの集計結果								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

※令和4年度実績を記入。



費目・使途
(「資金の流れ」におい
てブロックごとに最大の
金額が支出されている
者について記載する。
費目と使途の双方で実
情が分かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
役務	研修実施内容作成、研修実施等	32.8	役務	研修実施内容作成、研修実施等	11.8
計		32.8	計		11.8

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

